

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	京都府	事業実施主体	宇治市	地域再生計画名	将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」の創造計画
計画期間	令和2年度～令和5年度	評価責任者	宇治市上下水道部長 山田 雅彦		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	中間実績		指標総数	達成数		
	汚水処理人口普及率の向上	地域再生計画による下水道整備地域5河川の平均BOD負荷量の減少	96.3(%)	H30	97.8(%)	R3	97.2(%)	99.1(%)	R5	×	2	1	整備箇所の調整による工区の変更及び処理人口の減少により、汚水処理人口普及率の目標値を達成することができなかった。 公共用水域の水質保全に関する指標について、中小河川の目標値を達成できた。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(R3)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（東宇治処理区、横島処理分区）		延長 L=12,000m	延長 L=7,313m	延長 L=12,000m	整備延長は計画に沿って順調に伸びており、最終年度には目標値を達成する見込みである。							
	個人設置型浄化槽整備事業		箇所数 100基	箇所数 3基	箇所数 100基	中間年度の実績は計画値を大幅に下回る結果となったが、浄化槽設置整備事業補助金制度の積極的な利用に向けて関係課とも連携しPRを行う。							
その他の事業	地域美化清掃活動「クリーン宇治」		宇治市内各種団体および市民ボランティアにより清掃活動を行う			宇治川周辺を中心に継続的に活動することで「ごみのポイ捨てが発生しづらい環境づくり」に貢献し、環境への関心を高めている。							
	ポケットパーク緑化活動		地域住民等によりポケットパークの植樹および日常の維持管理を行う			ボランティア活動により、まちかどにやさらぎ空間を創造している。今後も、資材や花苗の提供を継続して支援する。							
	子ども環境学習会		地球温暖化に関する講演や体験型学習を行う			ボランティア活動による小学校での体験型学習会を行うことで、児童の環境への関心を高めている。							
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金事業		宇治川周辺地区以外の公共下水道および東宇治浄化センターの整備を実施			地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業とともに、宇治市公共下水道を整備しており、今後も早期の整備完了に向けて事業実施を行う。							
	下水道事業の広報活動		宇治川沿いの観光センターで宇治市マンホールカードを交付			下水道の日にパネル展を実施して下水道事業への理解へつながったほか、宇治川周辺の来客数増加に効果があった。							
③評価方法	関係部署の意見を求め、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った												
④中間評価の公表方法	宇治市上下水道部下水道計画課のホームページに掲載及び下水道計画課窓口での閲覧												
⑤計画全体の総合評価	地域再生計画および社会資本総合整備計画に基づく事業の実施により、汚水処理人口普及率及び対象河川の平均BOD負荷量の減少については中間目標を達成できた。また、その他事業についても継続的な活動により、生活環境・自然環境の保全に寄与している。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）												
令和5年度予算要望額への反映（有・無）													
有りの場合の増減額					千円								
⑦今後の方針等に対する対応	引続き、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用し、公共下水道については、地域・地形の特性を考慮しながら、計画的に整備を進めていく。また、合併浄化槽については、浄化槽設置整備事業補助金制度のPR活動を充実させることにより設置件数の向上を促すことで、公共用水域の水質保全や水辺環境の改善を図っていく。そのほか、地域美化清掃活動やポケットパーク緑化活動、子ども環境学習会を継続的に行い生活環境・自然環境の保全を図っていく。												